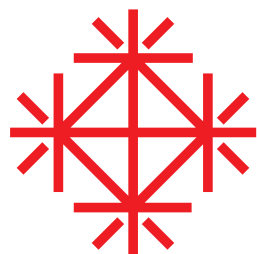




お米と。あなたと。・

新入社員による田植え



KITOKU SHINRYO
木徳神糧

第76期 株主通信

2023年1月1日～2023年12月31日

CONTENTS

木徳神糧ってどんな会社……………	01
連結財務ハイライト……………	02
トップインタビュー……………	03
Topics……………	06
役員紹介……………	07
会社概要・株式情報……………	08
株主様インフォメーション……………	09
拠点だより……………	10
新商品のご案内・レシピ紹介……………	裏表紙

木徳神糧ってどんな会社？

経営理念

コメビジネスを軸に世界中の消費者にコメとコメ関連食品の素晴らしさを発信し、健康で楽しいライフスタイルの実現をサポートします。

中期3ヵ年経営計画 (2023年12月期～2025年12月期)

事業規模・事業領域の拡大に向けた体制再構築の期間とし、収益体制を作りながら成長を図る

コメビジネスの拡大

- 米粉ビジネスの見直しと営業力増強
- 生産と物流の効率化
- 同業他社および異業種との連携による事業領域の拡大
- 海外法人を活用し各国の国内市場および近隣国への販売を強化、欧州・アジア向けの輸出を拡大

コメ関連ビジネスの成長

- 飼料事業の更なる成長／北海道と九州での販売拡大
- SDGs関連の取り組み強化および事業化等の積極的な推進

企業の成長の土台作り

- 人的資本経営・従業員エンゲージメントとモチベーション向上を目指す
- 業務の見直しと徹底した効率化を図り、収益基盤を築く

当期の取り組み

人材育成方針

個人と組織の相乗効果を高めるため、一人ひとりが自ら考え行動し、果敢に挑戦する人材を育成します。

社内環境整備方針

当社は、従業員の安全と心身の健康を第一に、良好なコミュニケーションと継続的な教育研修を推進するとともに、積極的な挑戦を評価し、個人と組織がともに成長できる環境を目指していきます。

企業にとって社員は重要なステークホルダーです。社員一人ひとりが精いっぱい働き力を発揮できる環境を作り、お客様に気持ちよく取引していただく。そして、事業の結果として適切な利益を得て、社会に貢献する。それが企業価値を高め株主様への還元につながります。当社は社員一人ひとりが生き生きと働くことで企業が成長すると考え、人材の育成と環境整備に取り組むための2つの方針を定めました。



若手社員の農業研修



連結財務ハイライト

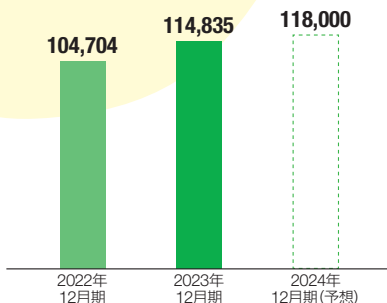
決算情報の詳細はコーポレートサイト「業績・財務」をご覧ください。



Financial Data

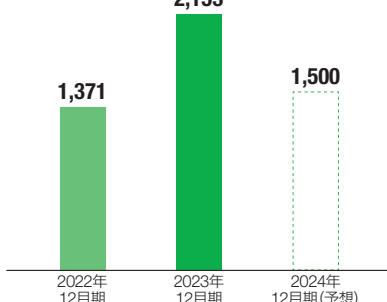
売上高

(単位:百万円)



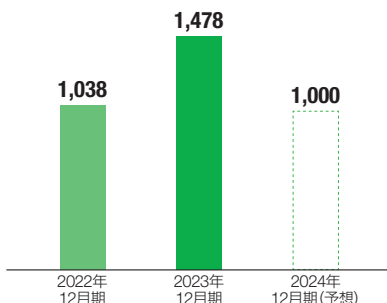
経常利益

(単位:百万円)

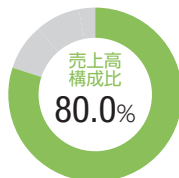


親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)



米穀事業



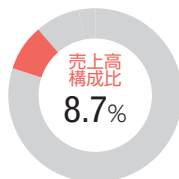
売上高 **91,817**百万円
(前年同期比 8.1%増)

営業利益 **2,382**百万円
(前年同期比 43.9%増)



- 令和5年産米の価格が令和4年産米を大きく上回る水準となるなか、業務用向けの販売伸長と卸業者間の玄米販売数量増加により増収
- コスト全般の見直しの徹底と、需要に応じた仕入の徹底や仕入ルートの複線化、用途別の仕入戦略等の施策実施により増益

飼料事業



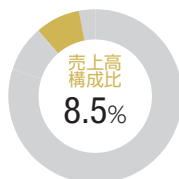
売上高 **10,007**百万円
(前年同期比 6.9%増)

営業利益 **493**百万円
(前年同期比 4.3%減)



- 国産飼料原料の需給が緩むなか、穀類および糟糠類の拡販に努めたことで増収
- トウモロコシの国際価格の下落に伴い利益率の高い国産原料の販売が伸び悩んだことにより減益

鶏卵事業



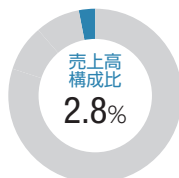
売上高 **9,815**百万円
(前年同期比 44.0%増)

営業利益 **109**百万円
(前年同期比406.0%増)



- 鶏卵相場の高止まりの状況で鶏卵商品の引き合いが強まったことから価格転嫁が進み、加えて新規得意先への販売に努めたことにより増収増益

食品事業



売上高 **3,194**百万円
(前年同期比 11.6%減)

営業利益 **124**百万円
(前年同期比174.0%増)



- 米菓メーカー向けの加工用原料米およびヘルスケア商品の販売に苦戦したことにより減収
- コンビニスイーツの原料としての穀粉販売が好調に推移し、各取引先への継続的な値上げ交渉が結実したことにより増益



国内外の事業を通じて 多角的にコメの魅力を発信し、 社会的使命を遂行します。

2024年3月28日付で、竹内伸夫が取締役会長に、鎌田慶彦が代表取締役社長執行役員に就任いたしました。今後の更なる発展に向け、引き続き力を尽くしてまいりますので、今後とも、株主の皆さまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

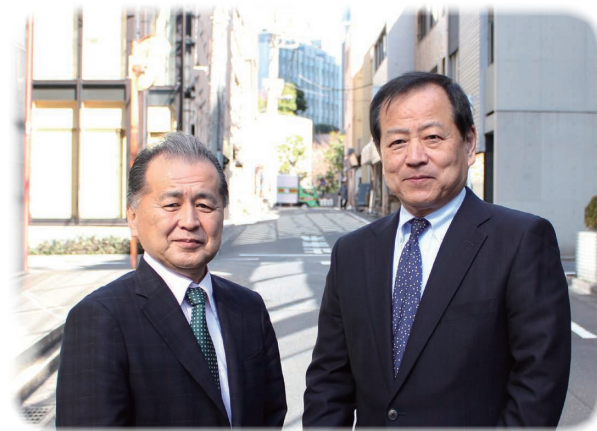
Q

2023年12月期の概況と国内での取り組みをお聞かせください。

A

構造改革の着実な積み重ねが、過去最高益につながりました。

■**竹内** 当社グループは主力である米穀事業を中心にさまざまな構造改革に取り組んでいます。会社全体での業務の合理化・効率化の面では、本牧工場を閉鎖して人員と生産機能を桶川工場に集約したほか、本社でも管理部門の一部業務を営業部門に組み込むなどの組織改革を推進し、順調に機能しています。また、米穀卸というビジネスでは仕入れと販売の適切なマッチングが重要です。以前より当社グループは、全農との協力体制の強化と仕入れルートの複線化を推進して安定的な調達と機動的な調達を両立し、需給環境の変化に



代表取締役社長執行役員

鎌田 慶彦

取締役会長

竹内 伸夫

柔軟に対応できる仕入体制を整備してきました。当期はこれらがうまくかみ合ったことで外食需要の回復などの好機に過不足なく対応でき、増収増益、過去最高益の達成という成果に結びついたと思います。

コメは相場の商品でもあります。当社グループにとってコメは投機的取引ではなく、お客様のニーズにいかに応えられるかという視点で、必要な量だけに必要なだけ仕入れて、必要なお客様に販売することでシェアを守っていくもの、というのが基本的な考え方です。国内では人口減少等を背景にコメの消費量が年々減少している一方、特別栽培米や産地直送米といった付加価値のあるコメについてはニーズが高まっています。そうしたニーズを確実に汲み取ってシェアを拡大していくことで、国内市場での安定的な成長を目指しています。

Q

成長市場である海外での取り組みについて
お聞かせください。

A

日本米の販路拡大に向けて各現地のニーズと
課題に取り組んでいます。

■鎌田 当社グループは1991年から海外事業を展開しており、近年は輸出需要の増えている日本米（ジャポニカ米）の販路拡大に向けた仕組みづくりに取り組んでいます。

例えばベトナムでは、連結子会社であるアンジメックス・キトク有限会社が現地で契約栽培したジャポニカ米を乾燥・粳摺り工場で玄米にし、日本式の精米工場で精米する一気通貫の生産体制を整備しており、ベトナム国内での販売の他に東南アジアや欧米への三国貿易でも販路を広げています。中国では吉林省や遼寧省など東北部で栽培されているジャポニカ米の販路開拓を進め、連結子会社の木徳（大連）貿易有限公司を拠点に、中国最大の国営食糧企業である中糧集团有限公司（COFCO）と協力し、日本の大手コンビニエンスストアチェーンと連携しながら中国国内での販売地域を拡大しています。そしてタイでは、日本人観光客や駐在する日本人が多く、高級レストラン等で美味しい日本米へのニーズが高まっていますので、キトク・タイランド会社を拠点にタイ国内で日本米を流通させる施策に注力しています。

さらに今後の取り組みとして、当社グループが国内で導入した無洗米加工方式「UMBP（ウルトラマイクロ

バブルプロセス）」のベトナム等への導入を検討しています。UMBPは生産工程での化石燃料使用量削減や節水効果といった環境負荷とコストの低減だけでなく、超微小な泡が米ぬかをしっかり除去して炊きあがりのご飯を美味しくします。また、炊飯に適さない硬水を使う海外においてはUMBPを導入することで、洗米の工程を省き軟水のミネラルウォーターで美味しく炊いていただくことも可能になります。こうした海外で美味しいコメを食べやすくする工夫も、日本米の普及につながると考えています。

Q

コメ関連事業の拡大に向けた取り組みを
お聞かせください。

A

グループの経営資源を活かし、新商品開発を
着実に進めています。

■鎌田 当社グループはお米の魅力をさまざまな形で普及させるべく商品開発を続けており、その成果の一つとして2023年12月には国産こめ油とカレンデュラを使用した無添加手づくり石鹼「八十八花」を発売しました。化学合成成分を使用しておらず、刺激を感じやすい方や小さなお子さまにもお使いいただける商品です。さらに2024年3月には米粉の一般家庭用商品3種類を発売しました。当社は新潟に米粉工場がありますので経営資源の有効活用になりますし、米食離れが進んでいる今、このようにお米の美味し



さを違う形で楽しんでもいただける商品も重要です。そして以前から当社は非食用米粉を配合した包材の開発など、地球環境保護の貢献という視点でも商品開発に取り組んでいます。最近ではUMBP無洗米加工の副生水の肥料化に向けた研究なども進めていますので、今後も進捗を発信していく考えです。

■**竹内** また、当社は2024年1月に100%出資子会社で鶏卵事業を展開するキトクフーズ株式会社を吸収合併しました。米穀事業と鶏卵事業のどちらも歴史と実績があり、双方の経営資源やノウハウを集約し有効活用することで、原料調達力や営業販売の強化といった効果が出ています。新商品開発においても更なるシナジー効果を期待しています。

Q 株主へのメッセージをお願いします。

A 次世代を見据えながら人材投資を強化し、企業価値を向上させていきます。

■**竹内** 企業にとって何よりも大切なことは社員に気持ちよく精一杯働いてもらうこと、その結果としてお客様、消費者に喜んでいただいて社会に貢献できる、株主に還元できると考えます。当社グループの持続的な成長に向けて社員のモチベーションとエンゲージメント

向上が重要であり、若手社員を対象とする研修会や経営陣と社員が直接対話する交流会も実施しています。

■**鎌田** 海外事業においてはコロナ禍が収束し、ようやく海外拠点への訪問が復活しました。さらに2024年からはアンジメックス・キトクの幹部や社員が来日して岡山工場を見学し、UMBPについて学ぶなど、海外拠点と日本と双方が交流し研修する機会を積極的に設けています。木徳神糧は既に150周年を見据えた土台作りのためにさまざまな取り組みに着手しており、企業として停滞することなく動き続ける姿をステークホルダーの皆さまにしっかりと情報発信することが重要だと認識しています。

■**竹内** 当社グループは全国の学校やこども食堂にコメを寄付していますが、2023年には創業140周年を記念してグループ全役職員にコメを無償配布する「ありがとう米(まい)」キャンペーンも実施しました。コメの大切さと魅力を国内外に伝えることは、コメ消費の拡大、コメ農家による生産の継続につながります。世界的に穀物需給がひっ迫する環境下、食糧安全保障の観点からも主食であるコメを守ることは重要な社会的課題であり、木徳神糧の使命でもあります。引き続き国内外において米卸としての役割を果たし、企業価値を向上させ、株主の皆さまを含む全てのステークホルダーの皆さまに還元してまいります。

Topics

木徳神糧はコメビジネスの展開によるお米の安定供給はもちろんのこと、その他にも安全・安心な日々の食事を支えるさまざまな事業に取り組んでいます。



飼料事業部

飼料の安定供給で畜水産業に貢献

日々の食卓に欠かせない肉や魚、卵、牛乳などを供給する畜水産業において、当社が重要な役割を果たしているのが飼料の安定供給です。飼料事業部では、国内の食品工場で発生する食品副産物や海外の農場から良質で安価な輸入乾牧草など、飼料原料全般を多様なルートで調達し、配合飼料メーカーや企業畜産へ供給しています。

お客様への持続的な安定供給とコスト低減に取り組むとともに、近年の重要な社会的課題である食品ロス削減に向けた廃棄食材の飼料化や、未利用資源に新たな価値を見出して活用するなど、循環型社会の形成にも積極的に取り組んでいます。



牧草の収穫作業の様子 (カナダ)



鶏卵事業部

お米同様に身近な食材の「卵」を提供

鶏卵事業部では、生産された鶏卵や鶏卵加工品を仕入れ、大手量販店や外食チェーン、加工メーカーなど幅広いお客様に販売しています。昨年までキトクフーズという別会社でしたが、今期から木徳神糧の鶏卵事業部となりました。

卵はお米と同様に消費者の皆さまにとって最も身近な食材の一つですが、栄養豊富で、生のままでも美味しく食べることができ、調理をすれば食卓を華やかにしてくれるという多彩な魅力を持っています。

私たちは、卵を通して皆さまに食の幸せを感じていただけるよう、衛生管理の行き届いた全国の生産者と契約し、安全・新鮮・美味しさにこだわるとともに、健康に良い商品を提供できるよう努めています。



鶏卵加工品



おさき たつお 尾崎 達夫

社外監査役 (2023年3月30日就任)



桶川工場での監査の様子 (写真左)



Q2 社外監査役の立場から 当社の印象を教えてください。

当社は、人にとって重要な「食」を中核事業としており、社会的意義の大きい企業と認識しております。そして、日本国内に加え海外の子会社を通じた展開も行っていることは、さまざまな分野で成長発展を目指すなかでの企業としてのリスク分散という観点でも有意義なものと感じております。他方、中核である米穀事業の利益率が決して高くない等、留意すべき点もあるように見受けられますが、当社の役職員の多くの方々が我々監査役に率直かつ真摯に対応していただいていると感じております。

Q1 経歴について教えてください。

大学法学部を卒業し、30年以上一貫して弁護士をしております。1年ほど米国に留学しロースクールで学び、ニューヨーク州弁護士でもあります。これまで企業法務、一般民事事件を中心に取り扱い、個人から大企業までさまざまな種類の事件や問題に取り組んできましたが、そのなかでも特に金融関係の実務経験が長く多いといえると思います。また、過去に上場企業の社外監査役を務めたこともあり、法科大学院で10年以上講座を担当しております。

Q3 社外監査役としての 抱負をお聞かせください。

当社は、企業として長い歴史を持つとともに、多岐にわたる事業分野があり、各事業の属する業界も長く続いていることから、十分注力して、その事業の内容や運営状況を確認、理解、評価する必要があると感じております。工場等の現場の視察、役職員の方々からのヒヤリング、他の監査役との協力といったことが肝要です。社外監査役として、会社から独立した立場で、これまでの自身の知見や経験を活かし、第三者の視点で職務を遂行していきたいと考えております。



会社概要

商 号 木徳神糧株式会社

事 業 内 容 米穀、飼料、鶏卵、その他食品等の仕入、加工、販売並びに輸出入

本社所在地 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-8
木徳神糧小川町ビル
TEL: 03-3233-5121(代表)
FAX: 03-3233-5131

資 本 金 5億2,950万円

従 業 員 数 273名 (臨時雇用者を除く)

ホームページ <https://www.kitoku-shinryo.co.jp/>

株式情報

- ① 発行可能株式総数 6,000,000株
- ② 発行済株式の総数 1,706,000株
- ③ 株主数 2,170名
- ④ 大株主

株主名	所有株式数	持株比率
木村 良	109千株	6.72%
濱田精麦株式会社	82	5.08
株式会社神明ホールディングス	80	4.93
大和産業株式会社	70	4.32
全国農業協同組合連合会	60	3.70
株式会社三菱UFJ銀行	60	3.70
株式会社三井住友銀行	37	2.29
農林中央金庫	37	2.29
木徳神糧従業員持株会	36	2.23
ヤマエク野株式会社	30	1.88

(注) 1. 所有株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、自己株式(85,813株)を控除して計算し、小数点第3位を切り捨てて表示しております。

役員等 (2024年3月28日現在)

名誉会長	平山 惇
取締役会長	竹内 伸夫
代表取締役社長執行役員	鎌田 慶彦
取締役常務執行役員	稲垣 英樹
取締役常務執行役員	岩苔 永人
取締役執行役員	石田 俊幸
取締役執行役員	山田 智基
取締役執行役員	管 益成
取締役(社外)	秋岡 栄子
監査役(常勤)	谷本 和則
監査役(社外)	鈴木 昌治
監査役(社外)	尾崎 達夫

(執行役員)

上席執行役員	今野 稔
上席執行役員	石森 好宏
上席執行役員	金子 泰彦
執行役員	郡司 和久
執行役員	中田 基春
執行役員	内田 英一
執行役員	鈴木 敬夫
執行役員	鈴木 平
執行役員	龍神 崇
執行役員	小松 功明

株主メモ

事 業 年 度 1月1日から12月31日まで

定 時 株 主 総 会 毎年3月に開催いたします。

基 準 日 定時株主総会については12月31日、その他必要があるときはあらかじめ公告する一定の日

配当金受領株主確定日 12月31日および中間配当金の支払を行うときは6月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電 話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所 株式会社東京証券取引所

公 告 方 法 電子公告(ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。)



株主様インフォメーション

Shareholder Information

株主優待

100株以上ご所有の株主の皆さまに株主優待品を贈呈いたしております。

●6月末現在の株主様

200株以上400株未満	2,000円相当の米穀製品
400株以上	4,000円相当の米穀製品等※

※ うち2,000円相当は「切り餅」を12月中頃までに贈呈いたします。

●12月末現在の株主様

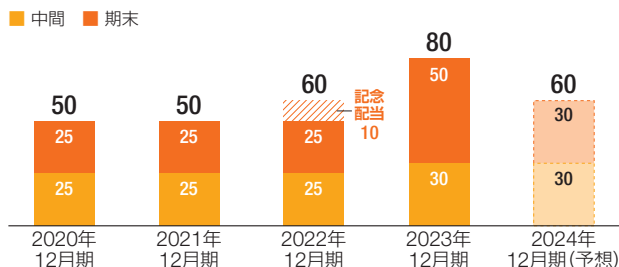
100株以上200株未満	2,000円相当の米穀製品
200株以上	4,000円相当の米穀製品等

配当金

当社は株主様に対する利益還元を重視しており、安定的な配当の継続を業績に応じて維持することを基本方針としております。その実現のためには盤石な経営基盤の確保が重要であり、株主様への利益還元と同時に内部留保の一層の充実を図りつつこれに取り組んでまいります。

1株当たり配当金の推移

単位：円



Point 1

年2回の
贈呈

12月末現在の株主の皆さま

→ 3月頃発送

6月末現在の株主の皆さま

→ 10月頃発送

Point 2

米穀商品をお届けします。

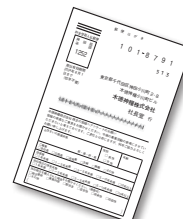
* 優待内容や商品デザインは、変更する場合があります。



商品の詳細は株主優待に同封される案内をご覧ください。

株主アンケートにご協力ください

株主の皆さまのお声から今後の活動に反映させていただくため、アンケートを実施しております。同封のアンケートハガキにご記入の上、最寄のポストへご投函ください。何卒ご協力をお願い申し上げます。



“ 拠点 だより ”

「西日本の基幹拠点」 中四国支店/岡山工場

中四国支店/岡山工場は、岡山県瀬戸内市にあり、仕入・製造・販売・物流・管理の全ての機能を持つオールインワン支店です。

主に中四国エリアの仕入先様・販売先様と取引を行っており、家庭用業務用の精米商品を製造販売しています。取扱い商品のバラエティーが豊富で多様なニーズに対応でき、仕入から販売までの業務を一気通貫で行えることが強みです。

また、FSSC22000（食品安全システム認証）を取得している岡山工場では新たな取り組みにも積極的にチャレンジしています。環境配慮型の無洗米設備UMB[®]を導入し、包装フィルムにバイオマス素材を使用した木徳神糧オリジナルの無洗米ブランド「e-come（イーコメ）」シリーズを立ち上げました。お客様にも好評いただき、当初は3アイテムだった商品も5アイテムに増加しています。

これからもお客様に安全・安心をお届けできるよう、支店従業員一丸となって業務に励んでまいります。



中四国支店/岡山工場



中四国支店 販売部門
川上 翔（2011年入社）

自然豊かな海と山に囲まれ、最近では戦艦大和が有名な広島県呉市出身です。休日は瀬戸内海で魚釣りをして過ごしています。私は「カスタマーファースト」をモットーに、主に量販店様へ精米販売を担当しており、最近は新たに仕入についても勉強中です。また、昨年から新商品研究開発プロジェクトチームへ参加し、本社のメンバーとアイデアを出し合っていますが、発案した商品が店頭に並び、購入していただくお客様のことを想像しながら取り組んでいます。与えられた仕事をこなすことはもちろん、新しいアイデアを自ら発信し、会社に貢献できるよう頑張ります。

私は、主に入荷した原料と製造した商品の品質検査、そして商品のパッケージの印字チェックを担当しています。もし、商品を誤った表示で出荷してしまうことがあれば、販売先や消費者の皆さまに多大なるご迷惑をお掛けしてしまうため、慣れや思い込みで作業をすることなく、常に緊張感を持つよう心掛けています。今後も、検査部門の業務を遂行するにあたり、とう精・包装部門で培った経験を活かしつつ、会社にさらに貢献していきたいと思います。



岡山工場 検査部門
野崎 朋裕（2001年入社）

※UMB[®]（ウルトラマイクロバブルプロセス）：お米の表面を傷つけないよう直径1μm未満の超微小な泡で米ぬかを取り除く新たな無洗米加工方式

新商品のご案内

オンラインショップ「コメツ (KOMETS)」
でもお求めいただけます▶



1882年創業の米屋が作った

新潟県産米使用「米粉」新商品ラインナップのご紹介

木徳神糧が作った「米粉」の新商品が登場しました。いつもの料理も小麦粉を米粉に置き換えれば、いつもと違う食感がお楽しみいただけます。話題の米粉活用レシピにも大活躍間違いなし！

新潟県の美味しいお米から独自製法で作った米粉は汎用性が高く、「米粉のから揚げ粉」「米粉のたこ焼粉」もラインナップにご用意しております。米粉の風味と食感をぜひお試しください。



- **米粉 (300g)**
天ぷら、ケーキ、クッキーなどに米粉を合わせて美味しさアップ！
- **米粉のから揚げ粉 (100g)**
ごはんが進むにんにく醤油味、カリッとジューシー！
- **米粉のたこ焼粉 (200g)**
外はカリッと、なかはとろとろ食感！

レシピ
紹介

今回のテーマ 米粉で作ろう！

米粉のしっとりバナナケーキ (50g×10個)

小麦粉や卵、乳製品などの食物アレルギーの子供たちも楽しめる、米粉を使ったカップケーキです。バナナを加えることで、もっちり食感に仕上がります。



材料

A	バナナ	100g
	レモン汁	15ml (大さじ1)
B	米粉	50g
	ベーキングパウダー	10g
C	オーツミルク	140ml
	こめ油	60ml
	砂糖	50g

この他にもホームページで
レシピ情報を公開中！



作り方

- ① 材料Aのバナナを1cm幅のイチヨウ切りにして、レモン汁に漬けます。
- ② 材料Bの米粉とベーキングパウダーを合わせます。
- ③ 材料Cのオーツミルク、こめ油、砂糖を合わせてよく混ぜます。
- ④ ③に②を入れてよく混ぜたら、①のバナナをレモン汁ごと入れて混ぜ合わせます。
- ⑤ 全ての材料を合わせた生地をマフィンカップに注ぎ入れます。
- ⑥ 190℃に予熱したオーブンで20分から25分焼いたらでき上がりです。(オーツミルクの代わりに豆乳でも作れます。)

 **木徳神糧株式会社**

〒101-0052
東京都千代田区神田小川町2-8 木徳神糧小川町ビル
TEL: 03-3233-5121 (代表) FAX: 03-3233-5131



環境に配慮した
FSC®認証紙とライ
スインキを使用して
印刷しています。



見やすいユニバーサル
デザインフォントを
採用しています。